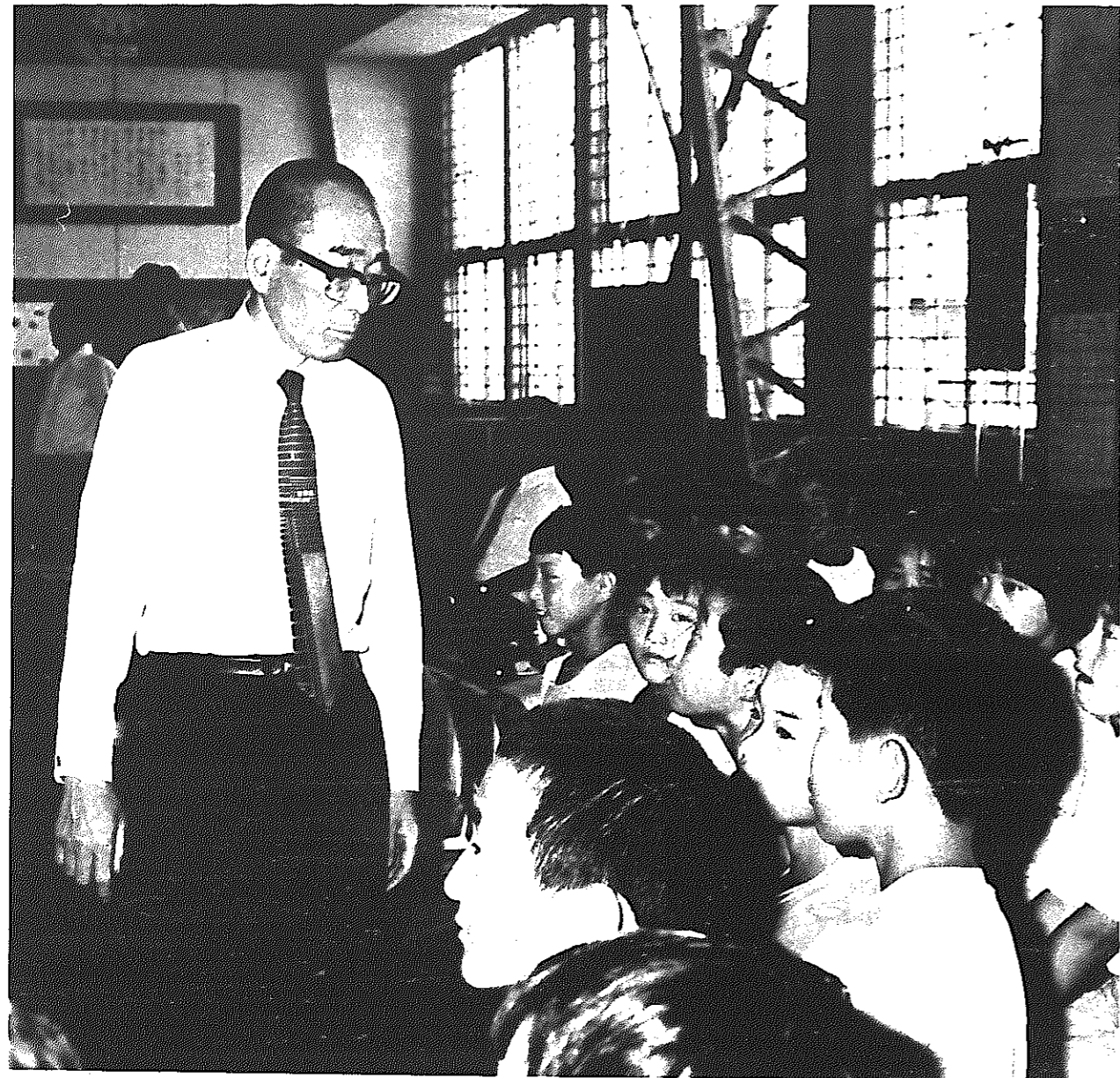


小学生おおいに語る



学校施設整備

■ 学校に大きな食堂をつくらせてください。みんなで一緒に楽しく給食を食べたら、きつとおいしいと思います。(四年生)

■ 部活動が盛んです。体育館とグラウンドをもっと広くしてください。(四年生)

■ トイレを衛生的な水洗トイレにしてください。(四年・六年生)

市長 これからの学校施設整備の方向としては、食堂や水洗トイレなど、内部施設をよくしていくというのが国、県、市での考え方です。木造校舎から鉄筋校舎に建てかえていく時点で、そうしたのもも整備されていくと思います。

体育館、グラウンドについては、狭いからといってすぐに庄瀬小体育館やグラウンドを大きくすることは、現段階では無理です。みんなよりきゆうくつな施設の学校もあるわけです。そうした学校のこともしっかり考え、できるだけ有効に使うよう先生をはじめ、みんなも協力してほしいと思います。

なお、授業に支障のある箇所の修繕などはやっています。

みんなで食べられる 食堂がほしい

21世紀は僕らの時代



庄瀬小学校児童と市長との話し合い

市長と小学生との話し合いが、今年も七月十二日、庄瀬小学校(大野正淳校長・児童二百六十八人)で行われました。話し合いに出席した児童は四年生以上の百三十二人。市への要望では「公園整備」や「交通安全対策」など、身近なものがほとんどでした。

また、作文発表では六年生の羽佐田 洋君が、「二十一世紀は僕らの時代です。環境を大切に、体力づくりに励む地域にしたい」と、社会に役立つ大人になることを、誓っていました。

公園整備対策

地域にも公園をつくらせてください

■ 住みよい庄瀬にするため、何に一番力を入れてほしいかを、五年生は相談しました。その中で、一番多かった意見は、公園がほしいということでした。子供や大人がそれぞれ楽しめる公園を、私たちが大人になるまでにつくらせてください。(五年生)

■ 白根市には緑がたくさんありますが、工場ができた家がたくさん建つと、緑が少なくなります。緑の木をなくさないようにしてください。(四年生)

■ 自然を生かした緑地公園を、つくってはどうか。(六年生)

市長 総合計画の中で、公園整備については、児童公園を九か所、児童遊園二十七か所、農村公園九か所、運動公園一か所、庭園一か所の合計四十七か所つくりたいと計画しています。そのうち現在までに設置した数は二十三か所です。庄瀬地区では、保育所の屋外を遊園として解放していますが、み

安心して通学できるように 力を入れてください

■ 庄瀬地区には信号機が一つもありません。事故の起きやすい危険な道路に、信号機を付けてください。(四年生)

■ 僕たちが通学していて、一番危険に感じるところは、下町地区の県道と市道の交差点です。そこ

交通安全施設整備

に信号機を付けてください。(五年生)

■ 多くの友達が、遠くから自転車通学しています。安心して通学できるように道路を広げたり、用水路を整備して危険のないようにしてください。(四年生)

市長 信号機を付ける仕事は、県の公安委員会が行っています。市内の道路に信号機を付ける場合は白根警察署から公安委員会へ申請してもらわなければなりません。

ただ、申請するとしても、どこもかしこもというわけにはいきません。道路の幅や交通量など、信号を付けるための基準があるわけで、それらを満たさなければ、なかなか付けてもらえません。

庄瀬地区では、下町から堤防へ上がる三差路について申請されていますが、まだ結論は出ていません。

通学路を広げることや用水路の危険防止対策は、もっともなことです。全市となると大変な仕事ですが、危険な所、あるいは手の付けられる所から順に進めてきていきます。